

本日の登壇者は3人を予定しております。それでは、届け出順に発言を許します。3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） おはようございます。入江有紀と申します。よろしく願いいたします。

一般質問に入ります前に、一言市長に言わせていただきたいと思います。

国境花火大会の件なんですけど、人様の山を4時間以上も燃やしておいて、テレビの前で謝ったときの態度が、市民の方から言ってきたんですけど、台の上に手をついて謝られたそうですが、ほかの2人の方はきちんと謝られたそうです。でも、市長だけが台の上に手をついて謝ったと。あれは本当の謝りじゃないということで、市民をばかにしておるのかという意見が来たんですけど、私もそうだと思います。

普通、謝るなら、台から下がって、台の上に手をつかないで謝るべきじゃなかったんでしょうかと私は思いますが、対馬市長としてそんな態度を市民から見られて、恥ずかしくないですか。もうちょっと常識のある態度で、謝るべきだったと私は思います。

そして、5時20分と5時40分に北警察署が何か実行委員会のほうに注意をしたそうですが、副市長がついておって、市長は出張だったんですけど、副市長がついておって、これ何をしたんですか、こんなの。

大きな火事を起こして、本当、市民に対して、人様の山の4時間以上も焼いてから、迷惑をかけているんですけど、台の上に手をついて謝るようなことはしないでください。市長として恥ずかしいと思います。以上です。

一般質問に入らせていただきます。

ホテル誘致について、対馬市がホテル誘致の公募をしているのですが、希望者の質問に対して答えが答えになっていない。市長は本当に誘致をするお気持ちがあるのですか。

そして、新病院のことについてなんですけど、私はこれを一般質問で出したら、ある議員から病院企業団を怒らせるようなことはするなということで、一般質問を取り下げるように言われましたが、私は市民の代表ですので、市民の不満を言ってあげるのが当たり前だと思いますので、取り下げはしませんでしたので、言わせていただきます。

第3に、大船越の野積み場用地の建物についてなんですけど、やっとな今、竣功認可がおりたわけなんですけど、今までこれ11年間もの間、そのままの状態にしておられた理由、そして担当はどなただったか、お答えください。

そして、いつはら病院跡地利用について、このことも、私はずっとやってきているんですけど、2年余りも。このことも取り下げろということだったんですけど、私は、市長が診療所を残すと言われてから、どのような市長が行動をされたか、厳原市民に対して、診療所を本当に残してあ

げようという気持ちで頑張られたかを、どんな行動をされたかをお答え願います。

以上です。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 通告に従い、質問に答えさせていただきます。

1点目のホテルの誘致について、このことにつきましては対馬市では、観光客数の増大による宿泊施設の不足という問題を解消するために、本年9月18日から対馬市が所有する上対馬町西泊ソモヤ地区1カ所及び厳原町東里野良地区3カ所の、計4カ所のホテル用地における宿泊施設整備事業者の公募を開始したところでございます。

公募開始後、10月8日に現地説明会を行い、質問書による問い合わせに対し、10月30日に回答をしたところでございます。

質問書につきましては2社から、14項目の質問をいただいているところで、市が管轄しております項目につきましては、可能な限り回答をさせていただいたところでございます。この質問の中には、国または県の所管に係る質問項目も含まれており、それらにつきましては、質問項目を所管する国、県等の機関をお知らせをし、回答にかえさせていただいたところでございます。

なお、今後のスケジュールといたしましては、参加意思表明書の提出期限が今月の12月15日、事業計画提案書の締め切りを平成28年1月25日とし、2月19日のプレゼンテーション、審査を経て、2月末までに応募者への可否を通知を行う予定にしております。

次に、2点目の新病院の対馬病院のことについて、通告書におきましては、市民からの要望というものを6月、9月と、病院側にお願いしていただくように私のほうにこの場でお願いをしたが、全然改善が見られないが、市民の要望を病院側に伝えてもらっているのかという御趣旨の質問趣意書が届いておりますが、この問題につきましては、おのおのの議会開催中に対馬病院のほうへ要望書としてお願いし、回答をいただき、議員をはじめ、議会の皆様へその回答書の写しはお渡ししております。

御承知のとおり、お願いされたことについては、病院側に確実に伝えているところであり、回答書をお渡ししたときも、議員さんからは何もほかに御意見はなかったように思っております。

対馬病院としても早急に対応できるものと、できないものがありましようから、改善が見られないものについては、今後も御意見としてお伝えをし、市民の病院としてふさわしい環境にしていただくよう、対馬病院を運営する長崎県病院企業団の一構成員として、市民の皆様からお聞きした要望や貴重な御意見は、今後もお伝えしていきたいというふうに考えております。

3点目の大船越の野積み場用地についてでございますが、この大船越の野積み場用地の無断使用につきましては、平成27年の第1回及び第3回定例会において、埋立竣功認可後、登記等の諸手続が完了した後において、総合的に判断し、対応していきたいと答弁をさせていただいてお

ります。

この野積み場用地につきましては、平成27年9月29日付で埋立竣功認可を受けましたので、あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更についての議案を議会に上程させていただいております。

御指摘の野積み場用地内の施設につきましては、本議会に上程しております議案の議決後、登記手続に入ります。登記完了後、占用の経緯を確認し、法律、条例にのっとり、また、国、県の指導等も仰ぎながら、漁協及び地域の関係者とも協議をし、用地の賃貸、建物の撤去等も含め、総合的に判断し、対応してまいりたいと考えております。

御理解のほど、よろしくお願いいたします。

次に、4点目のいづはら病院跡地の利用についてでございます。

この問題については、この場におきましてたびたび答弁をしておりますが、診療所を整備するまでの経緯については省略をさせていただきます。

診療所整備に向けてについてですが、9月議会において整備費として、工事請負費5,272万5,000円、備品購入費として1億円を予算計上し、議決をいただいております。

11月初めには、実施設計が完成しましたが、精査した結果、3,486万3,000円が不足することが判明しましたので、今回の議会において、補正予算として計上させていただいております。

補正予算を議決いただければ、早急に入札の事務を開始し、改修工事を済ませ、何とか早い時期に診療所を開院させたいというふうに思っております。

また、医師の確保についても、現在1名の医師と交渉しており、先月御来島いただき、御判断を仰いでいただいているところでございます。

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） ホテル誘致の件ですが、10月の見学会が10月8日にあったんですけど、その後、意見書の提出ということで出してあるんですよ、各企業の方が。

出すのに、10月16日までの期限だったんですけど、会社の方が10月14日の日に提出に行きますよということで、電話入れたところ、担当者が20日まで出張していますので、20日に出してくださいと言われていたんですよ。

だから、その16日までと決まっていたら、その担当者がいなくても16日までに市としては提出してもらおうのが当たり前じゃないかなということが一つと、その回答が来たのが、対馬市のほうで答えてないんですよ、全然。

それで、全部、国土交通省にお尋ねください。それから、県にお尋ねください。税務署にお尋ねください。その答弁なんですよ、全部。

だから、私も代理で一応、国土交通省のほうに電話を入れました。そしたら、国土交通省のほうと言われるのには、対馬市のすることでしょう、これは、何で、僕たちに振ってくるんですか。対馬市が答えないといけない問題ですよ、これはと言われたんですよ。だから、担当にもそのことは言いました。

何であなたたちが勉強しとってから、業者の方にはこうですよ、ああですよということをお話しないんですかと。全然勉強してなくて、全部国土交通省、それから県、それから税務署、厚生省、全部それですよ。だから、自分たちの答弁は、大した答弁は全然してませんよ、これ。だから、業者の人も、これはおかしいですよねということで、応募されている業者から苦情が来たんですよ、これ。

だから、私持ってますよ、これ、答弁書もちゃんと。対馬市が答弁したのも。みんな、国土交通省、それで全部電話しました。何で対馬市は国土交通省に振ってくるんですか。自分たちでこれを答弁しないといけないことですよということだったんですよ。

だから、市長が本当に誘致をする気持ちがあるなら、職員にもうちょっと勉強をさせて、このぐらいの答弁はできると思うんですよ、勉強していたら。わざわざ業者の人に、国土交通省の電話番号を調べてかけさすとか、県にかけさすとか、税務署にかけさすとかせんでもできたと思うんですよ。もうちょっと勉強するべきだと思いますが、どんなに思われますか。私の言うことが間違っていますか。御答弁ください。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 今の部分につきまして、担当部長のほうに答えさせます。

○議長（堀江 政武君） 総合政策部長、平間壽郎君。

○総合政策部長（平間 壽郎君） お答えいたします。

入江議員さんのおっしゃっている事業者の関係で言いますと、12項目ほど質問をいただいております。それで、それに対しては、きちんと文書で回答しております。そこにお手元にお持ちなんだろうと思いますけど。

その中で、市長が答弁等で申しましたように、内容によっては国の所管、県の所管がございますので、例えば、その12項目のうちのいわゆるその労働ビザの発給、このあたりについての質問がありますが、就労ビザというのは外務省の所管でありまして、例えば、韓国の事業者が対馬でそういった就労ビザを取得しようということになると、韓国内にあります日本大使館、または総領事館のほうに就労ビザの申請をし、韓国内の日本大使館、それと総領事館のほうで審査をされて、ビザが発給されるということですから、そういった問題については、外務省のそういった大使館なり総領事館が対応するということでございますので、そういうことでの回答をさせていただきます。

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 業者の人が、わざわざ国土交通省九州地方整備局、ずっと電話してこれは聞かないといけなかったんですよ。だから、こういうときには市のほうで調べて、それできなかったんですか。わざわざ業者の人にそこにかけてさせなくても。質問を受けるからには、もうちょっと勉強しとって、これを答えるべきだと思いますよ。

国土交通省が言うように、対馬市はどうして僕たちに振ってくるんですか。自分たちで何で答弁できないんですかと言ってありましたよ。担当にも、言われた方の名前も言ってますから、私は。わざわざ電話しましたよ、これ全部に。九州地方局にもした、県にもかけた、税務署にもかけた、それから国土交通省にもかけた。そしたら、対馬市はどうして僕たちに振ってくるんですかという返事ですよ。

恥ずかしいですよ、これは本当。だから、応募された方が、僕たちではできません、韓国の人だから、僕たちではできないはずですよ、韓国語では。だからもうちょっと対馬市が勉強しておいて、質問が来たときには、ちゃんと答えてあげるようにしてくださいませんか。

今のところ、何社の応募があっているんでしょうか。

○議長（堀江 政武君） 総合政策部長、平間壽郎君。

○総合政策部長（平間 壽郎君） 市長のほうで答弁をいたしましたように、参加意思の表明の締め切りがこの15日になっておりますので、今のところそれぞれ見込みとしてはございますけれども、15日になりまして確定するところでございます。

○議員（3番 入江 有紀君） わかりました。

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） もうちょっと、企業誘致をするなら、雇用が生まれますから、頑張ってちょっとでも雇用を生まれるように協力してあげて、できるだけホテルを持ってこれるように、対馬市としても協力してあげてもらいたいと思います。

次に、新病院のことなんですが、新病院のことを私が議会で言ったことに対して、病院企業団のほうに怒ってあるということを委員長報告で言われましたけど、私は、市民や自分の支持者の要望で、新病院はこうしてください、ああしてください、こうなんですよというのを聞いて、私は市民の代表なんですから、だから言いたいことは言ってあげるのが私の一応仕事だと思うんですよ。

だから、病院のことも言いますけど、本当に市民は誰に言うんですか、不満を。

だから、私が言ったことを市長が聞いて要望を出していただければ、対馬市民は30年間にわたって病院の借金を返していくんですよ。言う権利が十分にありますよ。私たちにかぶってきているんじゃないですか、30年間の借金が。だから、言う権利は十分あると思います。私は、こ

れを取り下げてくれ言いましたけど、私はやめませんでしたので。

私は、一応市民があんまり要望が多いものですから、朝6時から番号札をもらうために並んでみました。本当に大変なところでした。夏は暑い、冬は本当寒かったですよ、6時からで。その議会でこのことも改善をお願いしていたんですけど、全然改善ができてない。

そして、7時になってから中に入れてもらえるんですが、暖かいところに。ところが、7時からまた8時まで受付の中には入れずに、またそこに並んでおくんですよ。だから、7時から入れてもらうようになっただけは、少しは改善ができたと思います。前は、7時になって中に入れてもらえなかったんですから、今のところは、それだけは改善ができてました。

そして、私は並ぶところに椅子を置いてくださいと言ってたんですけど、その椅子のことも改善ができてない、じっと立ってから私は患者さんたちと話して待ってたんですけど、やっぱり大変なところですよ。

そして、市民が私が思うのは、30年間も病院のあれを払い続けていくんですが、裏玄関からお金を私たちがかぶっている人間たちが裏玄関から泥棒みたいに入れられて、表玄関からどうして入れてもらえないものでしょうかね。裏玄関からしかも入れてくれないんですよ。

だから、これを改善しないなら、裏玄関で番号札を渡すようであれば、表玄関にもこんなして番号札渡しは、表玄関ではなく裏玄関ですよということも入れてないし、入れてないからわからない人は、表玄関に並ぶ、そんな状態なんですよ。

だから、そのことも前回お願いしてたんですね、私、このことは言っていないけど、その番号札もらいがどうかならないものですか、椅子でも置いてもらえないですかと言ってたんですけど。そして、私が並んでましたら、ちょうど2番だったんですけど、私は6時に行って。そしたら、職員の人が通っていくんですよ、そこをずっとしたら。何で入江議員さんこんな時間から並んでいるんですかと言うんですよ。こんな時間から並ばんと早く終わらないんですよ。

で、私が診療が全部終わって、2番の札をもらったんですけど、終わったのが12時40分でした。だから、6時間幾らもただ普通の診療にそんなにかかっているんですよ。

だから、やっぱり本当、お年寄りには6時から並ぶところに、普通の木の椅子でもいいですから置いていただくように、もう改善していただけないでしょうかということと、玄関から堂々と入れていただけませんか。泥棒みたいに裏玄関から患者さんを入れるんですから。ちょっとそのことも改善と、もう一つは、この前も言ってたんですけど、入院した方の食事がいづらはら病院に比べたら、まずいんですよ。

だから、1カ月間入院してきたらもう本当痩せて帰ってくるんですよ。だから、そのことも私は事務長にお願いしとったんですけどね、全然改善がなされてない。だから、市長にお願いして、私たちが言うんじゃないくて、市長がこのことを改善ができるようにしていただけないでしょうか

ね。

それと待合室の件です。バスの待合所の件なんですけど、これは厚生常任委員会でもお願いし  
とったみたいなんですけど、奥行きが浅いんですよ。それで、軒がないんですよ。だから、雨は  
打ち込むし、冬は寒いんですよ。

ちょうど私が病院に行ったときが、雨が降ってきて、行ってみたら軒が浅いから打ち込んでく  
る、寒い。だから、そういうのを市民の方にお聞きしたら、「どうかしてもらえませんか、ここ  
にずっと待っておくのに、雨は打ち込むし、寒いし、どうかしていただけますか」という要望  
が、そこにおられる七、八人から要望が来たんですけど、これもどうかしていただくわけにいき  
ませんかね。

で、もしお金、病院側がしないようであれば、対馬市のほうで補助を少しでも出してから、市  
民のために、あんまりお金はかからないと思うんですけど、していただくわけにはいかないでし  
ょうか。それも要望しておきます。

それともう一つ、前回も眼科の先生のことを私はお願いしたんですけど、「82歳にもなって  
お前は免許を取るのか」と言われた、その眼科の先生のことなんですけど、今回も糖尿病の方が  
白内障という診断をされて、そして手術をしてくださいと言ったら、手術はせんと。今になるま  
で何でほっておいたかと。そしたら、先生はすぐにしてもらえませんか。俺はせんと、それで  
向こうに行ってこいと言われて、大野眼科に行って、1週間目に紹介状をもらって、病院に行か  
れたんですけど、9時20分の受付で、豊玉の自宅に帰ったのが6時半でした。お昼御飯も全  
然何も食べなくて、診察に入ったのが4時です。

だから、いつも眼科の先生の話がこんなに出るんですけど、もうちょっと市民に対して優しい  
言葉を使っただいて、そういうこれはちょっとあんまりですよ。前回も眼科でしたけど、今  
度も眼科ですよ。御飯も食わずに、家に帰ったのが6時半ですよ。診察に入ったのが4時。これ  
もちょっと改善できないでしょうかね。私は本当もうあきらめました。

それと、私が一応コレステロールがちょっと高いからということで、3カ月前に健診を受けた  
ときに、食事療法をしてからかかってくださいということだったもんですから、食事療法をして  
から診察に行ったんですよ。そしたら何て言ったかといったら、受付の人が「入江議員は、きよ  
うは自費をいただきます」と、自費を払ってくださいと言うんですよ。何ですか、健康保険証  
があってから何で自費ですかと言って、私怒ったんですよ。

それで、こういうことが往々にあり得ると思うんですよ。私だったから、これは怒ってから自  
費は払ってないけど、普通の人なら、はい、そうですかと言って払うとるはずですよ。

だから、病院のやり方自体が私は不思議でたまらないんですよ。

私、帰ってからもどうしても納得がいなくて、病院側にもまた電話しました。何で保険証が

あってから、10割払わないといけないかということなんです。だから、病院のやり方自体がどうも何かこれはもう、市民が気楽に安心して行ける病院に改善していただくわけにはいかないでしょうか。

受付のところから改善してもらいたいですね。泥棒みたいに裏から入れないで。市民は借金を払っているですよ、30年間ずっと払っていくんですよ。それで、権利がもうあるじゃないですか。それなのに、泥棒みたいに裏から番号札もらいますよ。本当、前回も言いましたけど、パチンコ屋の札もらいますよ。

で、おかしいなと思ったのが、私が2番の受付だったのが、42番ですよ。終わるの42番の札ですよ、受付2番で、朝6時に行って。だから、こういうのの改善をしていただかないと、お年寄りはおもう大変だと思いますよ。私たちはまだ若いからいいけど、お年寄りは本当大変だと思います。

それと、バス停留所の件は、早急をお願いしたいと思います。

で、大船越の野積み場用地の件ですが、今まであそこの野積み場用地をつくって、何で現在まで竣功認可のあれをしてないんですか。どなたが担当ですか。お答えください。

そして、いつぐらいにここは造成したか、お答えください。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 対馬病院の件につきましては、私のほうから答えさせていただきますが、次の大船越の件につきましては、担当部長のほうから詳細について答えさせます。

新病院の件につきましては、議員さんをはじめ、多くの方々から御意見が届いているところでございます。

まあ、開院当初はともかくとしまして、病院側もさまざまな形でこの問題につきましては、取り組みをされているところですし、先ほども申しましたように、すぐに取り組める問題、すぐには改善不可能なこともございます。いろんなことがあります。前向きにこういうことはずっと取り組んで、川上院長をはじめ職員の皆様も取り組んでおられます。そういう面について、市民の皆様の真の病院になるように、温かく見守っていただければというふうに感じております。

○議長（堀江 政武君） 農林水産部長、阿比留勝也君。

○農林水産部長（阿比留勝也君） お尋ねのいつ竣功認可したかということですが、この埋立地につきましては、竣功が平成6年の3月末ということになっております。

で、なぜできなかったかということですが、これ全島旧町時代からいろんなところが埋め立てをしているんですけども、それには確定測量が要ると。確定測量に相当要るということで、全島それぞれの市町村でまだ竣功していなかった分があるということで、3年ぐらい前からこれを竣功認可をとろうということで、年々計画的に今、確定測量を実施をしております。



で、担当者ということでございますが、当時は旧美津島町の建設課が担当したということで、現在は、農林水産部の基盤整備課が担当しておるといってございまして。

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） これは、もう竣功認可もおりて、測量も終わって、承認ができたんですが、どんなふうにするおつもりですか、市長は。

この野積み場用地というところは、建物を建ててはいけないところなんですよね。それに、建物を建てて11年間もずっと無断使用してあるんですが、これをそのまま続けさせるおつもりでしょうか。お答えください。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 先ほども申し上げたとおり、今回の議会において、議案を上程させていただいております。あらたに生じた土地の議案でございますが、その議案可決後に登記手続に入らせていただきます。登記手続完了後に、今おっしゃられたことに判断をしていくことになるかと思っております。

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） ぜひとも、そうせんと、村の人たちとか、野積み場用地にいろいろ置いてある人たちに、こういう建物を建てさせる事例をつくれれば、この人だけに許せば、全部に許さないといけないようになると思いますので、ぜひとも急いで撤去していただくなり、よろしく願いいたします。

いづはら病院跡地利用の件なんですけど、このことは、議員になってから私は2年何カ月やってきましたが、やっぱり市長がいろいろ巖原市民にも和白が来るとか言うて、喜ばせたりしてから、それをまた来ないと言うてがくつときたり、そんな感じなんです。和白が来ると言ったときには、どれだけ喜んだかわからないんですよ、巖原市民は。

だから、最後には診療所になりましたが、診療所もロシナンテスから医師を派遣してもらいますという、市長のお言葉だったんですけど、このロシナンテスが協力するなら、病院企業団は協力はしませんということなんでしょう。あなた、そう言われたんですよ、議会で。ここから医者連れてきますと言ってあるじゃないですか。前回か前々回に。でも、ここの病院から医者連れてくるなら病院企業団は協力はしませんよということだったんじゃないんですか。

どこまで、あなたは、この診療所の件についてから、何回、どうして動かれました。医師の件については、特別委員会に投げているんじゃないんですか。お答えください。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 今、質問がありましたロシナンテスが来るならば、病院企業団は協力しないよというふうな言葉は、全く病院企業団のほうからは出てはおりません。逆に、ロシナンテ

スさんも病院企業団のほうの方向性ということは、十分にわかってありますし、どうすれば地域医療というのを一緒にやっけていけるかということで、タッグが組めるというふうに私どもも思っておりますし、病院長さんもそのようにお考えであります。

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 医師の派遣ですけど、委員長報告でもありましたように、医師を見つけるのはなかなか大変らしいんですが、診療所に対して補助金をつけて、これだけの補助金をつけましたよね。つけて改装して、これ市民の税金でしょう、これは。もしこれが先に改装してしまって、診療所を改装して、医師が見つからなかったらどうするんですか、これ。あなた、あと3月までのうちに、責任をとって一生懸命、医師を見つけるべきですよ。改装するなら。辞めるんですから、改装してしまって医師が来なかったら、誰も責任をとる人はおりませんよね。だから、3月までの任期のうちに、一生懸命見つけてください、医師を。それが当たり前だと思います。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 先ほども答弁させていただきましたように、この医師の確保につきまして、別にまた現在1名の医者と交渉を私自身もやっておりますし、先月も来島していただき、施設も見ていただき、また、対馬のほかの診療所も見ていただき、そして対馬病院のほうとも話し合いもしていただくというふうなことも順次やっけていっているところでございます。

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 病院企業団の企業長との仲が悪いですよ、市長は。それで、病院企業団の企業長との仲は、前、開院のときにもあんなふうな状態だったし、悪いんですが、病院企業団の企業長には、何回ぐらいお願いに行かれました、お答えください。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 申しわけありません。何回ぐらい何を今おっしゃってある、どの段階からのお願いの話なのか、よくちょっと質問の趣旨が見えませんが。

○議員（3番 入江 有紀君） あなたが診療所をつくると言われてから。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 診療所につきましては、病院企業団のほうは、診療所をあそこに病院機能を持ち込むということについては、基本的に中核となる病院の経営と違う形で、福祉施設を入れてほしいというふうなお考えをお持ちでした。だから、この問題については、診療所の方向性を出した後は、向こう側は市立の診療所として開院をしてほしいというお願いがあった次第であります。

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 企業長に会ってからそのことは話されました、お願いされました。病院企業団に協力してもらわないと、医者確保は恐らくできないと思うんですよ。だから、市長は企業長と仲が悪いですけど、自分が残すと言った診療所ですから、ぜひとも自分の任期の間にお願ひに行って、企業団にも協力していただいて、残すべきだと思いますが、どんなですか。

○議長（堀江 政武君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 市立診療所を主体的に市が経営・運営をし、その中でいろんな交渉の経過はあるわけですが、在宅医療特定診療所とかいろんな方向性も途中見え隠れしましたが、そういう際には、病院企業団としても医師をそのサイクルがありますので、そのときは24時間対応とかいろんな相談の中で、そういう中でそのサイクルに病院企業団の医師を組み込むことも可能ですと、全部請け負うことは到底不可能ですけども、そういうサイクルの中の一つの歯車として入り込むことは可能ですということ、病院企業団の企業長のほうからも、お話は私に以前からあっているところであります。

○議長（堀江 政武君） 3番、入江有紀君。

○議員（3番 入江 有紀君） 診療所のことは、巖原市民は非常に期待をしておりますので、市長が3月までの任期ですから、一生懸命頑張って医師確保をお願いいたします。

それともう一つ、病院のと最後にお願ひしたいんですが、6時からの札もらい、裏からの札もらいをどうかなりませんか。それをぜひとも言ってもらいたいですよ。やっぱり、あそこで寒いのに外で待たせるなら椅子を置くとかするか、中に入れてもらうか、7時からは中に入れてもらえるんですが、その中に入れてもらえて暖かいところに入れてもらえて待たせてもらうならいいんですが、寒いところがたがた震えながら6時から待つんですよ。

だから、私が2番札をもらってから42番ですよ。2番の札をもらったのに、42番、新患ではですね。だから、そんな状態で6時間以上も病院がかかるんですよ。だから、もうちょっと新病院は、お年寄りでも気楽に診療に行ける病院に改善していただきたいと思います。本当に病院の苦情がどれだけ来るかわかりませんよ。

そして、一つ言っておきたいのは、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇もうちょっと皆さんに優しくしていただきたいんですよ。いつも眼科の先生の問題が出るでしょう。もうちょっと優しくしていただきたいということです。

それと、私が自費だったこと、自費だったことがどうしても私は納得いかないんですけど、自費と言ってこられたのが。健康保険証をもらって。だから、そのことも私だけではないと思うんですよ、このことは。だから、そのことも、市長、頭ひねっても本当なんですよ。言ってこられたんですよ、全額くださいと、10割くださいと。そんなことがどこにありますか、健康保険証をもらって、3割ですよ、私は。そんなこともよく調べて、一応病院側から回答をもらいたいと

思いますので。

○議長（堀江 政武君） 入江議員に申し上げます。個人名、〇〇〇〇〇名前が出ましたので、取り消してください。（「わかりました」と呼ぶ者あり）取り消しますと言ってください。自分から取り消す意思はないですか。

○議員（3番 入江 有紀君） 取り消します。

○議長（堀江 政武君） はい。

○議員（3番 入江 有紀君） 以上で終わります。

○議長（堀江 政武君） これで、入江有紀君の質問は終わりました。

.....  
○議長（堀江 政武君） 暫時、休憩します。再開は11時からとします。

午前10時48分休憩

.....  
午前11時00分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

17番、大部初幸君。

○議員（17番 大部 初幸君） おはようございます。17番、新政会の大部です。

このたびも、清く正しく美しくを目標に頑張ります。このことは、あまり言うなという同僚議員もおるんですけど、あくまで目標ですので言わせていただきます。

今回は2つの一般質問です。

まず、自然災害、または、自己の責めによらない理由のへい死した養殖魚介類への処理費の助成についてと、2つ、対馬病院のすぐ前の十字路は非常に危険です。信号機の設置をお願いしますという2つの質問に入らせていただきます。

通告書に従いまして、2つの質問をさせていただきます。

自然災害、または、自己の責によらない理由のへい死した養殖魚介類への処理費への助成について。

ことし9月1日と9月18日の50年ぶりという大雨に、対馬島内では考えられないほどの災害が発生しました。陸では、崖崩れに家屋の崩壊、また、川の氾濫等信じられない被害でした。海でも大雨と赤潮により、今、対馬唯一の基幹産業と言っても過言ではない養殖マグロが大量にへい死をしました。そのへい死したマグロの処理費は全てが自己負担でしたが、今後、自然災害でへい死した養殖魚介類への処理費の助成はできないのでしょうか。ほかの市では、豊かな海づくり事業補助金等を交付しておるところもあります。

市長のお考えをお尋ねいたします。